

市議会・モニター意見交換会報告書

1 開催日時 令和4年9月29日(木) 14:00~15:30

2 開催場所 市役所3階 第2委員会室

3 参加モニター数 2人

4 参加議員 矢田松夫 岡山明 松尾数則 中島好人

5 意見交換会の主な内容

[モニター] 委員会のユーチューブ動画は長いので、最後に要点があると良い。

[モニター] 休憩時間が延々とブラックアウトして流れている。工夫が必要である。

[モニター] 議員の顔がよく見えるようにしてほしい。

[モニター] 議員の声が聞き取りにくいところもあるので字幕があると良い。

[モニター] 傍聴席でお茶を飲んでいたら注意された。禁止事項は事前に知らせてほしい。

[議員] 議員は、今回から水の持参が出来るようになった。傍聴席においても検討する。

[モニター] 一般質問の項目を一つ取り下げたのなら、早く終わるはずだが。

[議員] 議員の持ち時間70分の中で、一つ取り消してでもしっかりと市長に意見を述べるため。

[モニター] 議会だよりや議会報告ユーチューブにしても若者には分かりにくい。

18歳から選挙権があるのでその年代にアプローチして行くことが必要ではないか。

[議員] 若者の興味を引くようなユーチューブにして行くアドバイスがあれば聞かせてほしい。

[モニター] とっつきやすい人たちが解説するとか、議員をフィーチャー(特集)したようなものを作ったらどうか。

[モニター] 委員会のユーチューブは長いので、休憩時間余白をカットしたり、テロップを付けたり、要点を最初と最後にこういうふうに話し合いで決まったなどすれば分かりやすいのではないか。

[議員] 一生懸命議論しているので長くなる。

[モニター] 一般質問する際に写真などの説明資料があると分かりやすい。また、こうした資料は、地域交流センターでも配布してほしい。

[議員] 議場の傍聴者には配布している。

[モニター] 市議会のホームページに掲載されており、プリントアウトできるのでは。

[モニター] 一般質問は、地域のことであれば傍聴に誘いやすい。

[モニター] 厚陽地域交流センターは、画像や音響も悪い。改善が必要。

6 今後、検討すべき意見

- ・傍聴席へのお茶の持ち込み（議会運営委員会担当）
- ・若者の興味を引くユーチューブにしておくこと（広聴特別委員会担当）
- ・18歳の若い人を対象とした企画（広聴特別委員会担当）
- ・一般質問の資料を地域交流センターで配布すること（議会運営委員会担当）
- ・厚陽地域交流センターのテレビの改善（広聴特別委員会担当）

市議会・モニター意見交換会報告書

1 開催日時 令和4年9月29日 18:00～19:40

2 開催場所 市役所3階 第2委員会室

3 参加モニター数 3人

4 参加議員 矢田松夫 岡山明 長谷川知司 松尾数則

5 意見交換会の主な内容

[モニター] 本会議場には置いてある添付資料が交流センター等で視聴する場合は置いていない。

[議員] 市議会のホームページには掲載しているが、解りにくいので改善したい。

[モニター] 委員会の視聴は映像の映りが良くない。人が判定できる程度の能力がほしい。

[議員] 改善を進めたい。

[モニター] 議会もユニバーサルデザイン化を進めてほしい。字幕を付ける、文字を大きくする等、障がいがある方が参加しやすい環境がほしい。

[議員] これからは議会もDX化を進め、字幕を付ける、文字を大きくする等の対応をしたい。

[モニター] 傍聴を含めて若い人の参加が少ない。

[議員] 中学生市議会等、これからは若い人にも議会に興味を持っていただき、山陽小野田市の未来の有権者等の投票率アップにつながる行動をとりたい。

[モニター] ホームページを見てくださいと簡単に言われるが、携帯電話を使うだけでも大変なお年寄りもおられる。考慮する必要がある。

[モニター] 市長の答弁が少ない。議会も山陽小野田市を良くするために、正面からぶつかる必要がある。

[議員] 議員が市長を指名しても、答弁の選択権は議員にはない。市長に答弁をさせるのは議員の力だと思う。力をつけていきたい。

[モニター] 高齢化が進み、空き家は増加する一方で、空き家の利用、例えば、その空き家を賃貸に出して、納税収入の増加につなげたい。

[議員] 市は空き家に補助金を出して、空き家バンク制度等で利用できるように考えている。

[モニター] 差押えについては、猶予期間とか、困っている人に対して、市としてやり方が知りたい。

[議員] 市は簡単に差押えをしているわけではない。電話、郵便等で連絡し、役所に来て相談するとか、あるいは、伺って相談する等している。手順を踏んで、最終的に差し押さえをしている。

[モニター] モニターの意見は市民を代表した意見である。おかしいと感じたことを発言することはモニターの重要な役目であると思う。

[モニター] 生活保護の在り方について、本当に必要な人がもらっているのか確認したい。

[モニター] 有害鳥獣、地域猫の問題は補助金制度等による解決は必要だが、ジビエ料理、猫カフェ等による別方向への利用等も考えるべきだ。

6 今後、検討すべき意見

- ・議会のDX化が必要（デジタル化推進特別委員会担当）
- ・市長発言を増やす努力が必要（議会運営委員会担当）
- ・議会もユニバーサルデザインの考え方を持つべき（広聴特別委員会担当）

市議会・モニター意見交換会報告書

1 開催日時 令和4年9月30日（金） 14:00～15:30

2 開催場所 市役所3階 第2委員会室

3 参加モニター数 4人

4 参加議員 矢田松夫 岡山明 古豊和恵 吉永美子

5 意見交換会の主な内容

[モニター] 一般質問を行わない議員がいるが、議員の職務を果たしていないのではないかな。

[議員] 一般質問は議員の権利であって義務ではない。

[モニター] 一般質問で議員が掲げた公約を実現するように活動してほしい。

[モニター] 一般質問を傍聴したが、同じ内容の質問を繰り返すことがあった。もっと努力が必要である。

[モニター] 一般質問する際には、専門家の意見を聞いたり、市民に分かりやすい図を用意するなど、もっと勉強してほしい。

[モニター] 委員会を傍聴した際、スマホ教室について執行部から、参加者は理解したとの報告があったが、実態は違う。しかし、議員からは質問がなかった。もっと市民の声を聞いて、質問してほしい。

[議員] 委員会で協議する。

[モニター] 地域交流センターで開催される講座に、初心者が入りづらい実態を議員に知ってほしい。

[議員] 改善策に考えはあるか。

[モニター] ベテランの市民には、別のサークルを作ってもらおう方法があると思う。

[モニター] 地域交流センターでの活動を行うにあたって、だんだん人数が減っていく状況で、それには公共交通機関がないことも改善すべき問題である。

[モニター] 文化スポーツ推進課が新設されたが、経費節減して、これから何を目指していくのかを、もっとわかりやすく、市民からいろんな意見をいただくような措置をとるべきではないか。

[モニター] アドバイザーの江藤教授から受けた条例の見直しや政策評価について、きちんと検証すべきではないか。

[議員] 言われるとおりである。

[モニター] 議会が実際に活動し検証して、評価する際、モニターの意見を聞いてほしい。

- [議員] 定例会ごとに意見交換会が開催されるので、その際に現状確認していただければと思う。
- [モニター] 地域交流センターでの活動についても、議員が活動される地元住民と連携して、高齢者を大切にする方策をとっていただきたい。
- [議員] 平成26年以降、政策討論会を行っていないが、少子高齢化にどう対応するのか、議論する必要があると思う。
- [議員] 高齢者を大切にとの発言について、高齢化が進む中で、文化スポーツ推進課や地域交流センターを所管する市民活動推進課、高齢福祉課が連携して施策を進めるよう議会は活動してほしいという理解で良いか。
- [モニター] そうである。
- [モニター] 若い人が選挙に行くように興味を引く取り組みをしてほしい。
- [議員] 中学生市議会が開催され、参加した中学生が学校に帰って感動した旨の報告をしたと聞いている。
- [モニター] 大学生に対しても、同じようなチャンスが作れないかと思った。
- [モニター] 持続型社会を目指すSDGsについて、施策はどうか市に正してほしい。

6 今後、検討すべき意見

- ・市議会アドバイザーからの提言に関する検証（議会運営委員会担当）
- ・部や課を超えた施策の推進を議会として提言（議会運営委員会担当）
- ・市民の中にもっと入って、現場の実態を知る取り組み（広聴特別委員会担当）